

科目名	音楽Ⅱ B					単位	2.0
担当教員	早川 幸						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	

●授業のテーマ

ピアノ演奏のさらなる上達と実践曲の習得

●到達目標

- ①『バイエル』未終了：100番程度もしくは全曲終了と1, 2曲の弾き歌い
- ②『バイエル』終了以上：『ブルクミュラー25の練習曲』10番以上と弾き歌い

●学習内容(授業概要)

音楽Ⅰからの継続。バイエル終了にいたらなかった学生は、引き続きバイエル終了を目指す。バイエル終了以上の学生には『ブルクミュラー25の練習曲』などを使い更に上の技術を目指す。また、実際に現場で使われている童謡など弾き歌いを並行して行うことで、より実践的な曲を習得し、即戦力になる技術を身につける。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション(概要を説明し、各自への課題の指示等)
2. (2回目～12回目は音楽Ⅰの進度に合わせて曲ごとに演奏法を指導)
 - ①音楽Ⅰの復習 ②音楽Ⅰの復習
3. ①運指のなめらかさ Part1. ②標題の表現法 Part1.
4. ①運指のなめらかさ Part2. ②標題の表現法 Part2.
5. ①運指のなめらかさ Part3. ②標題の表現法 Part3.
6. ①運指のなめらかさ Part4. ②標題の表現法 Part4.
7. ①リズムの性格 Part1. ②標題の表現法 Part5.
8. ①リズムの性格 Part2. ②指使いの決め方 Part1.
9. ①リズムの性格 Part3. ②指使いの決め方 Part2.
10. ①弾き歌い Part1. ②弾き歌い Part1.
11. ①弾き歌い Part2. ②弾き歌い Part2.
12. ①弾き歌い Part3. ②弾き歌い Part3.
13. 試験曲を決める
14. 練習を重ねる
15. 試験に向けて総仕上げ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：次回のレッスンまでに、課題となったところを個人練習しクリアできるようにしておく。

事後学習：毎回のレッスンで弾けるようになったところを、個人練習時間を使って確認し再度弾いておく。

●成績評価方法・基準

準備・事後学習 30% 進捗 30% 学期末試験 40%

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名：『バイエル教則本』、出版社：全音楽譜出版社

≪No.2.≫書籍名：『ブルクミュラー25の練習曲』、出版社：全音楽譜出版社

≪No.3. ≫書籍名：『こどものうた 200』、出版社：チャイルド本社

●参考文献／その他

特になし

●履修上の注意

ピアノ技術の取得には、継続した積み重ねが必要で日常的な練習が欠かせない。
個人レッスンなので、出席等自己管理に責任を持つ。